

植物に詳しくなるためには、自分の好きな植物ができることがきっかけになります。または、自分の植物を決めて見続けるのもよいでしょう。ここでは樹木を観察します。



## ねらい

自分が調査を担当した木について、どこにいても気にするようになる。



## 達成目標

- ・木の特徴はどこに現れるのか説明できるようになる。
- ・一つの木の種類に関して、他の種類と比べてどこが違っていて、どんな特徴を持っているのか説明できるようになる。



## 導入

タイトル下の「背景」に書いてあるような投げかけをする。一人一種類、調べたい木を決める。

## 本体

ワークシートの項目を観察し、スケッチする。気づいたことやコメントをつけてワークシートを埋めていく。

## ふりかえり・わかちあい

自分の木の調査結果（図鑑）を紹介し合う。他の人の図鑑と自分のものを比べて、同じと思うこと、違う点、調べ方の違いなどについて話し合う。

## まとめ

この木を継続して観察し続けることを促す。新たな発見があれば、発表しあえるようにすることを伝える。

## 実施のポイント

あくまで、自分の目で観察したことを記録するようにしよう。一種類何人かの担当者がいて、比べてみるのもよい。図鑑は後で掲載したり、束ねたりして資料にするとよい。

◆所要時間	40~60分
◆人 数	何人でも
◆関連教科等	総合的な学習の時間、理科
◆焦点を当てる能力	観察する、記録する
◆準備するもの	ワークシート、クリップボード、筆記用具
◆安全のポイント	活動の範囲を明確に伝える 危険箇所があれば伝えておく

## 評価の視点

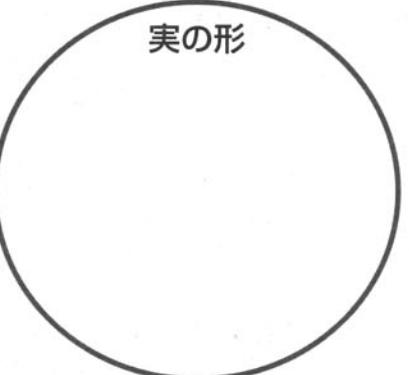
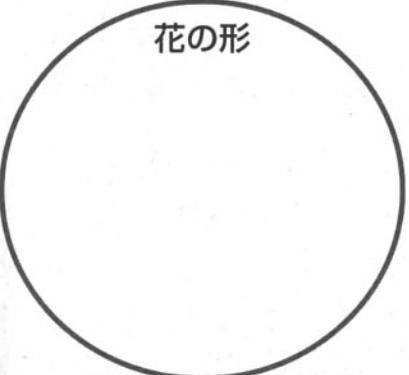
自分なりにきちんと観察し、図鑑をつくること。  
作業を通して、自分の新しい発見をもてたかどうか。

## 発展・応用

ワークシートの項目は、一度の観察では全部埋まらないことがあるので、注目していくもらい、他の季節に残っている部分を（日付をつけて）記入してもらうようにする。

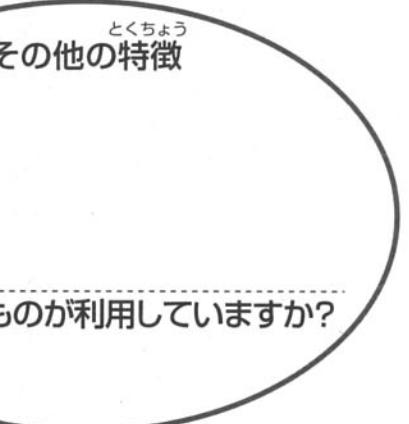
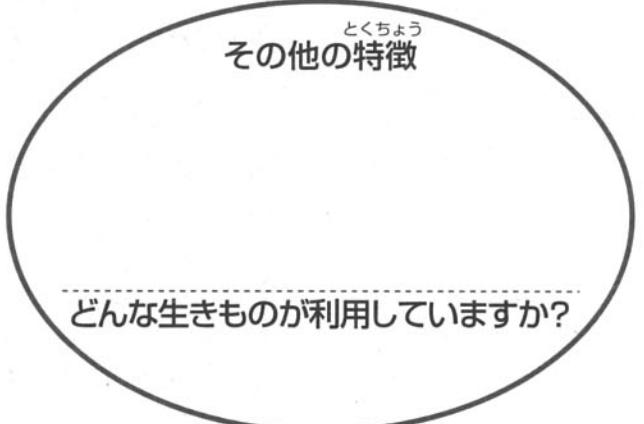
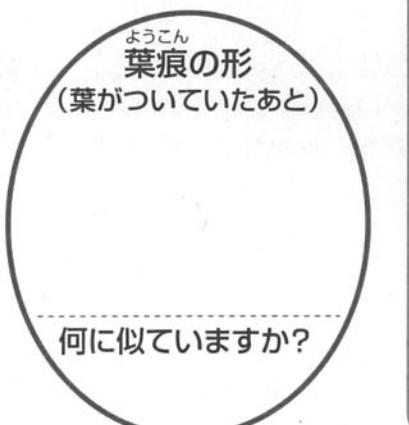
オリジナル／自然教育研究センター

## 木の名前



木全体の形

何に似ていますか？



年 月 日 名前